

市民活動団体紹介

様々な分野で活動している
団体を紹介します！

北海道和種馬保存協会

(学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動)

「どさんこ(北海道和種馬)」は、北海道に古くから伝わる小型の馬で、開拓に大きな貢献をしました。北海道遺産にも認定され、乗馬やホースセラピーの他、日本古来の伝統武芸「流鏑馬(やぶさめ)」では、その迫力ある姿で人々を魅了しています。

生産者の高齢化や経済的な価値が認めづらいことから、減少が続いており、貴重な「馬文化」を多くの人に知ってもらうためのPR活動と同時に、保存活動にも力を入れています。

【問い合わせ】090-6269-7782(白井)



PR 「どさんこ市民講座」や、乗馬・トレッキング体験が出来るイベントなどを行っています。本物の「どさんこ」に会いに来て下さい！

NPO法人 とらいわーく

(保健、医療、または福祉の増進を図る活動)

障がいのある方の「動きたい」という希望をかたちにできるような支援をしています。パソコン訓練やマナー講座、障がい者製品(手作り小物など)の委託販売まで、様々なニーズに沿ったプログラムを用意しています。それは、ひとりひとりの個性と能力を大切にしたいという思いから。

一方的な支援に終わるのではなく、彼らの力を地域社会に還元する「共生・協働」の社会づくりを目指して活動しています。

【問い合わせ】011-206-1186(金城)



PR カフェでゆったり、マンツーマンパソコン講座開催中！3月14日(木)、21日(木)の午前中、受講料飲み物付き500円です。

NPO法人 未来

(経済活動の活性化を図る活動)

発明応援事業として「発明塾」を開催しています。現在、アイデアを持っていない方には、発想法を教えます。仕事や日常生活で困ったこと、辛いこと等は発明のきっかけとなります。産業財産権法(特許法等)を学んで、出願⇒登録⇒企業に提案⇒契約となれるように、発明者を応援します。企業は「売上と利益」を、消費者は「便利さの提供」を受け、発明者は「独占権と対価」が得られます。発明に興味のある方はお気軽に塾にご参加ください。

【問い合わせ】011-887-7045(上野)



PR 毎月東区民センターで発明塾を継続的に無料で開催しています。北海道新聞やUHBスーパーニュースで放映されました。

北ぐにの森づくりサークル

(環境の保全を図る活動)

東三郎北大名誉教授が考案した「カミネッコン」を使い、森づくりを進めています。カミネッコンは再生ダンボールを使った六角形の組立式の植樹ポット。そのポットに種や挿し木から育てた苗木と土を入れて、森をつくりたい場所に置くだけ。カミネッコンは紙なので数年すると風化してなくなり小さな森が出来ます。

子どもたちの森づくり学習や市民体験教室、「ふるさと森づくり」推進活動などを通し、森の再生を図っています。

【問い合わせ】011-682-4127(倉持)



PR 正会員、賛助会員を募集しています。

学生主体・双方向メディア研究会☆With

(情報化社会の発展を図る活動)

学生の持つ優れた放送技術を活かすとともに、学生主体の情報ネットワークのハブとなるべく、日々活動中。ラジオに限らない様々なメディアを効果的に使い、一人ひとりを繋げていきたい。最も重視していることは「双方向性」と「相手のことを心掛ける気持ち」。その先に成り立つ『真の相互コミュニケーション』こそが、With☆の目指す未来です!!

【問い合わせ】
HP: <http://with-hoshi.com/>



PR さっぽろ村ラジオ(FM81.3MHz)とNEWZONEにて毎週土曜日19時から30分番組を放送中!!

笑顔推進委員会「ひまわり」

(情報化社会の発展を図る活動)

「ひまわり」のような笑顔で世の中をいっぱいになりたい。大人の私たちが変われば、子どもはその姿を見て育つはず、そうすれば社会も変わる。

子育て中のママが悩みを相談できる場所づくり、互いに尊重し合うコミュニケーションカフェを開催し、平等な社会を推進する活動をしています。

もちろん、スタッフは笑顔でいっぱい。

【問い合わせ】080-3551-5700(にべ)



PR この夏にイベント「色遊び〜手をつなごう」を企画しています。

編集後記

今回の取材中は学生の皆さんのフレッシュさに感激。一方別の取材では、何か行動を起こす時に年齢は関係ないな、とも思ったり。自分自身も新鮮な気持ちを忘れずにチャレンジしていきたいですね。(いそべ)

私が編集スタッフになって、2号目の発行です！前回よりは、少〜し要領も分かってきて「いっぴしの編集者」気分を味わったり(笑)。もちろん反省点や改善点も。次号以降に活かしていきたいものです。(もみやま)



「しみサポ」は市民活動サポートセンターの「しみ」と「サポ」とって付けた愛称です。

研修や交流に関する事業の実施をはじめ、助成金情報や団体のイベント情報などの案内、印刷機、打ち合わせコーナー、PCコーナーなどがあり、事務所としてご利用いただける事務ブースも設置しています。

<http://www.shimin.si-plaza.jp/>



みんなのしみサポ編集ボランティア会議



企画会議で
写真の選定を
しています。

『みんなのしみサポ』は、広報さっぽろにて募集した編集ボランティアと市民活動サポートセンタースタッフが協力して製作しています。

みんなのしみサポ32号

発行日:平成25年2月 ■発行:札幌市民活動サポートセンター(指定管理者:(株)札幌市青少年女性活動協会)

■住所:〒060-0808 札幌市北区北8条南3丁目札幌エルプラザ ■電話:(011)728-5988 ■FAX:(011)728-7280

■アクセス:JR札幌駅北口より徒歩3分(地下歩道出口12番から建物の中まで直結)

みんなのしみサポ

札幌市市民活動
サポートセンターだより

第 32号
2013.2

市民まちづくり活動登録団体数
市民活動団体 2,135団体
消費者活動団体 23団体
男女共同参画団体 46団体
環境活動団体 51団体
(1月末現在)

札幌市市民活動サポートセンターは NPO やボランティア活動などの市民まちづくり活動を支援する施設です。

事業報告

チ・カ・ホでイイネ!市民活動がイイネ!

11月から1月に「チ・カ・ホ」(札幌駅前通地下歩行空間)において、札幌市内で活動する市民活動団体の取り組みを、パネル展示や作品展示、体験コーナーなどで紹介しました。期間中のふれあいの様子を、「チ・カ・ホ」の「チ」〜チカヅク(市民)、「カ」〜カカワル(ボランティア)、「ホ」〜ホウコクスル(市民活動団体)に当てはめ、お伝えします。



チ

…チカヅク(市民)



亜麻の展示を見て「亜麻の種ないの?」「鉢でもいいから置いてほしい」との声。名古屋から来た方は、「何度か札幌に来てこのあたりを通っているが、いつも何かやっていて楽しい」との感想をお地蔵さんの絵を見て、「お地蔵さんが大好きなので、後から家族を連れてぜひ見に来ようと思います。今出張の帰りに通りがかったので…」と告げる方。たくさんの方があたたかい感想と共に、立ち寄ってくださいました。

また、市民活動については「聞いたことはあるが、よくわからない」との意見もありましたが、「子どもに手がから

なくなったら、ボランティアをやってみよう」など興味を持っていただけたようです。

お客さまだけではなく、団体同士の交流もあり、ぐっと距離が近づいた瞬間でした。

カ

…カカワル(ボランティア)

運営ボランティアには、新聞で見えて応募してくださった市民の方や企業の方が社会貢献活動の一環として参加!市民活動に関しては「やってみたいけどどこへ行けば良いかわからない」「なかなか情報が得られない」といった印象を持っていたようです。

実際に関わってみて「いろんな人に会えるから楽しい」「今後も出来る範囲で活動していきたい」という感想が聞かれました。「今回のようなイベントをきっかけに、市民活動に興味を持ってくれる人が増えるはず。入口はいろいろあって良いのでは?」との意見も。

それぞれがやり甲斐を感じながら、パンフレット配布やアンケート収集に取り組んでくださいました。



ホ

…ホウコクスル(市民活動団体)



出展した市民活動団体は、「一般の人たちにどう見えているのか、どうしていることを行っている団体なのかを分かってもらいたい機会でした」「名前と存在を知ってもらえて制服も紹介でき、いいPRになりました」「何やってるの?と足を止めて質問してくださいたり、説明するなかで、自然に緩やかに触れ合えました」など、直接立ち寄ってくださった方の声や反応から大きな手ごたえを感じたようです。

出展団体の中には、1カ月以上前から準備を行い、活動を紹介するパネルや小物などを作成している団体もいて、「市民のみならずに活動を分かってもらいたい」という意気込みを感じました。

それは参加していた市民活動団体共通の思いではないでしょうか。

今後も、市民活動団体の強い思いやミッションを伝えられる事業を展開していきます!

お知らせ

事業報告書等は団体の活動を伝える重要なPR手段！

NPO法人の事業報告書は特定非営利活動促進法で、「毎事業年度1回、全事業年度の事業報告書を所轄庁に提出しなければならない。」と規定されています。
提出書類の中でも、事業報告書は団体の活動を伝えるための大切な広報ツールになります。今年は少し工夫をして作成してみませんか？

事業報告書は誰に対する報告？

提出先は所轄庁の札幌市ですが、特定非営利活動促進法の成立経緯を考えると、NPO法人を見守る「市民」への報告であるとも言えます。
そのため、具体的な事業報告書を作成することは、市民の皆さんに法人活動の理解や共感をいただくことにつながると言えるでしょう。

ぐっとくるオススメ事業報告書！

どのような活動をしたのか詳細に！
参加者の感想やコメントなどを載せよう!!
具体的な数字やデータがあればその結果を！

提出された事業報告書等の閲覧は、市民活動サポートセンターの閲覧コーナーへ！
札幌市内に事務所のあるNPO法人の過去3年分の提出資料をご覧ください。



事業報告書等の提出を忘れずに！

事業報告書は、毎事業年度終了後、監事による監査を受け、総会の議決を経る必要があります。事業年度終了が3月31日の場合は、事業年度初めの3か月以内(6月30日まで)に必要な書類と共に提出が必要となります。

こちらをご覧ください。
●札幌市のNPO 情報掲示板
<http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/npo/jyohou.html>

今から早期に準備を行い、余裕を持って所轄庁に提出しましょう。

「ハローNPO札幌」の開設について

札幌市では、まちづくり活動をおこなうNPO団体とNPO活動への参加に興味・関心を持つ方々のマッチングを目的とした情報ポータルサイト「ハローNPO札幌」を開設する予定です。
今後、札幌市の公式ホームページやさっぽろまちづくり総合情報ポータルの中でお知らせをする予定ですので、ぜひご覧ください、活用していただければと思います。

【問い合わせ先】 札幌市市民まちづくり局市民自治推進室市民活動促進担当課
TEL 011-211-2964 E-mail:shimin-support@city.sapporo.jp URL: <http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/>

相談員のつぶやき

昨秋、中国人の若い女性が窓口を訪ねてきました。英語と中国語はできるが日本語はまだ初級レベル。しかしボランティアがしたいという。それ以来、私の団体「ネイバース」での物販やパネル作りなどを手伝ってもらっています。
そんなきっかけで、市民活動を外国人に知ってもらおうということになり、札幌国際プラザの助成金を「さぼネット※1」でいただき、英語のパンフレットを作成しました。外国人が代表の団体、外国人メンバーがいる団体などを、市民活動の切り口から紹介しているものはユニークだと思います。
このパンフレットは、市民活動サポートセンターや札幌国際プラザ等で配布しています。
(相談員:吉田三千代)

※1 札幌を拠点に、北海道内のNPO・市民活動団体の運営をサポートする団体です。

「水曜日に英語での相談始めます」

英語パンフレット
「Let's join! NPO」

市民活動に関する疑問・質問は『市民活動相談』へ！

■相談日:火曜日～金曜日(祝日休)
■相談時間:15:00～18:30
■相談方法:札幌市市民活動サポートセンターの窓口で直接ご相談できる他、Eメールまたは電話での相談もお受けしています。
相談員不在時もお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

市民活動ズームイン

編集ボランティアが気になる取り組みを紹介するコーナーです！

ビッグイシューさっぽろ

ミッション:「雑誌ビッグイシューの販売」という方法でホームレスの自立を支援

市内3か所

①道庁北側
②チカホ北3条交差点広場
③琴似ダイエー前
にて、販売員(菊池、村田、志村)が売っています！

1 ホームレス状態から自立へ

ビッグイシュー1冊300円の販売で160円が販売者の収入になります。仕入れ数や販売・管理方法はそれぞれが決められています。160円が自立への第一歩！

〈販売者〉
「声をかけてもらえると嬉しいし、励みになるよね。」

〈販売者〉
「極寒の1月、路上で売るのは大変。やっぱり天候に左右されちゃうよね…でも、とにかく続けることが大切。」

〈お客さん〉
「ビッグイシューは政治や経済から映画まで、独自の視点で切り込む面白い雑誌だよ。」

販売者のみなさん

2 いろいろな人が、様々な方法で支援

朝は明るい挨拶から。スタッフは日々、ブースを訪れる販売者と世間話をしながら体調を気遣います。
販売者は住所がなければ、事実上生活保護申請が受理されないこともあり(いわゆる水際作戦)、スタッフは、どうすれば家を借りられるか知恵を絞ります。

〈スタッフ〉
「人生の先輩として教えられることもしょっちゅうです。」

〈お客さん〉
「初めて購入する時って、実は結構勇気がいるんだよね。」

3 活動を広げる

ホームレスの問題を辿っていくと、他の様々な問題と地続きで繋がっていることがわかります。視野を広げ、他の団体ともゆるやかに繋がっていきたくです。誰もが居場所と出番のある包摂社会を目指しています。(ビッグイシューさっぽろ代表 平田なぎさ)

3つの課題 ①売上に繋がる雑誌の認知度アップ
②持続的活動のための安定財源確保
③スタッフ、特に若い人たちの充実

ボランティア募集中です！

連絡先:080-4040-1914(平田) E-mail: big.issue.sapporo@gmail.com
HP:ビッグイシューさっぽろ<http://bisapporo.web.fc2.com/>(日本版:<http://www.bigissue.jp/>)

お役立ち情報

活動をもっと広めたいな
良い方法があるよ！

団体活動の内容をもっと伝えませんか？

しみサポでは、団体の情報を公開する「団体情報シート」を用意し、サポートセンター内で広報・提示を行っています。
さらにこの春からは、団体紹介シートをもとに「団体紹介カード」(活動風景の写真入)を作成します。このカードは、サポートセンター入口の専用カードコーナーにて配架します。詳しくは、市民活動サポートセンターまでお問い合わせください。

しみサポ掲示板

助成金掲示板がパワーアップ！

市民活動サポートセンターでは、年間助成金情報掲示板のほかに、新着助成金情報の掲示板を設置しました。
活動分野ごとに色分けをし、対象事業や応募要件、締切日などが一目でチェックできます。新しい助成金情報をお探しの際にはぜひご利用ください。
また、募集終了分も活動分野ごとにファイルにまとめて置いてありますので、これまでの助成金情報についても情報を得ることができます。